

東由利村報

No. 162

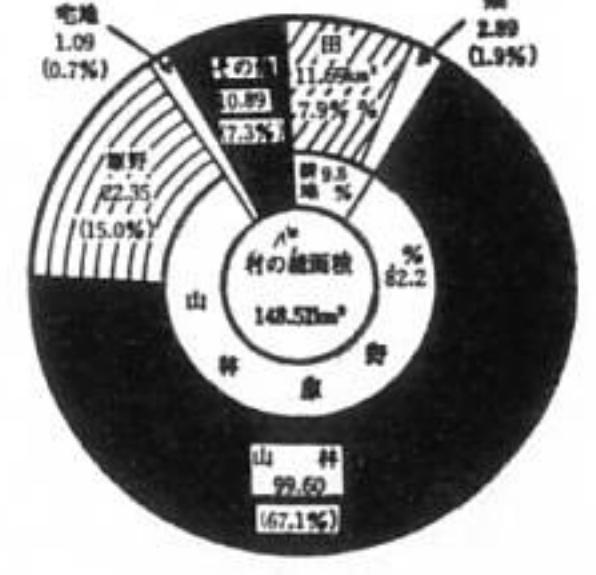
1971.2.1

発行 秋田県東由利村役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行(1部8円) 昭和42年7月21日第三種郵便物認可

世帯と人口

計	368,324千円
会計	88,684千円
一般	86,106千円
特別	792千円
内訳	1,400千円
国保	386千円
黒診	
簡水	
玉財	

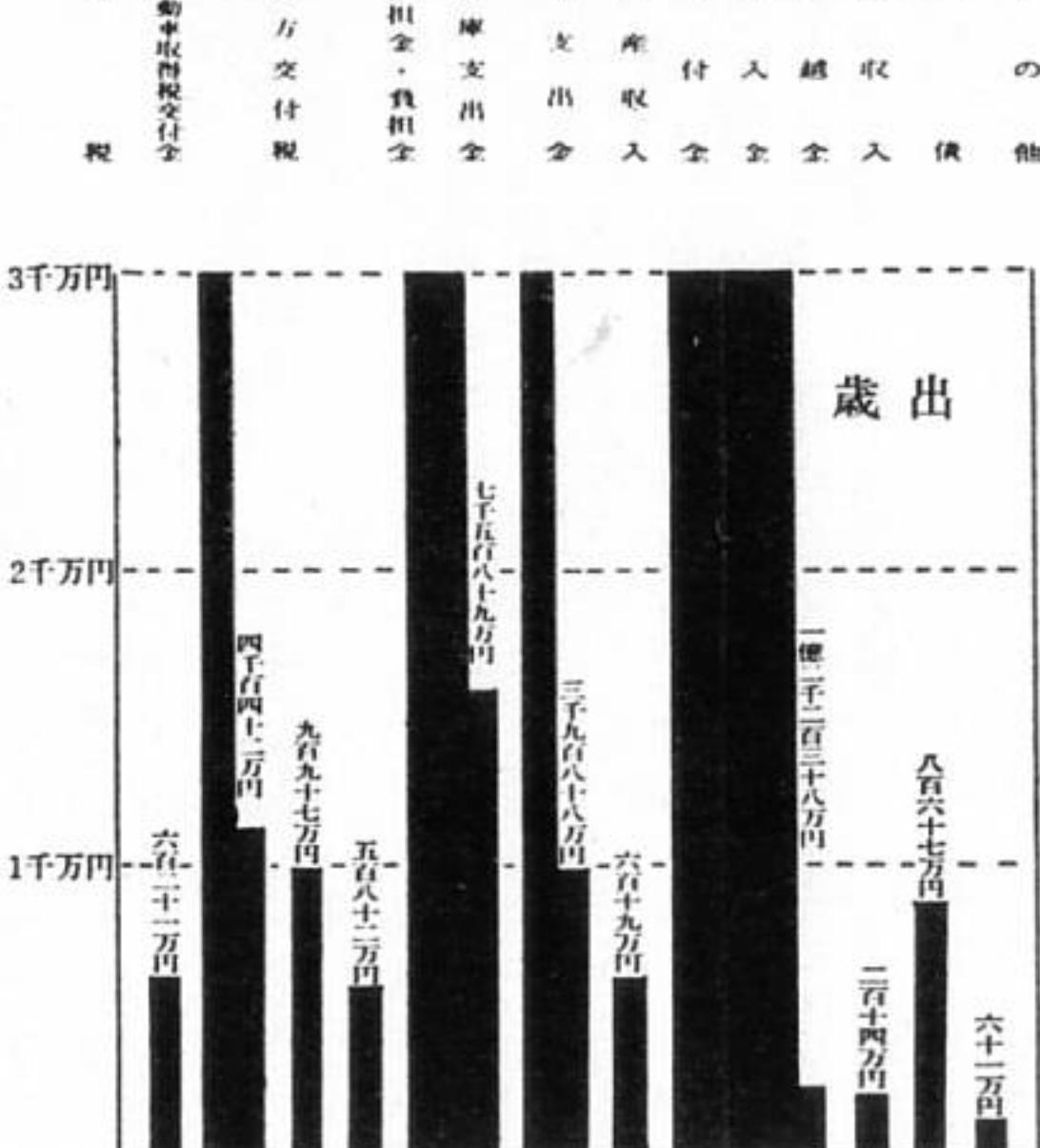
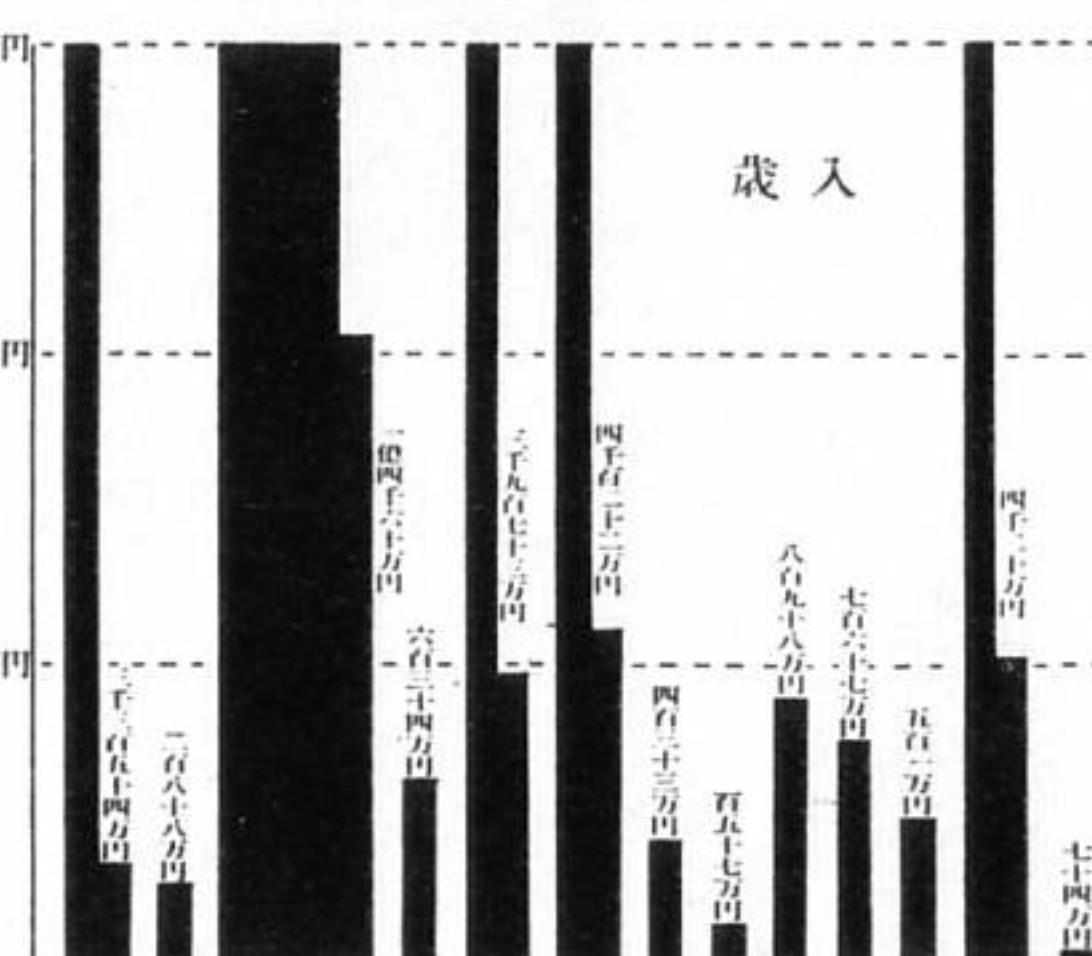
世帯数	1,583世帯
人口	7,302人
男	3,607人
女	3,695人
前月に比し世帯は4の減	
人口は14の減	



1,300万円の黒字 事業増しても使える 議側 村会

十一月二十一日招集の第七回定期
村議会は、四十四年度の本村一般会
計決算ほか、国民健康保険事業など
四つの特別会計決算を認定した。ま
た人事院勧告とともに、村一般職
員の給与改定条例と補正予算、学園
団地、台山への交通の便をはかる、
地域環境道路をめざした、村道路線
の整理など、議案七件、認定一件、
報告二件を審議可決した。

44年度一般会計決算グラフ



一般会計

事業増してても使える

本村昭和四十四年度の一月一日前後、
黒淵診療所事業決算は、歳入七十
七万九千円に対し、歳出は七十二
万一千円で五万七千円は歳出は、歳
入が三億円を越えていた。

簡易水道事業決算は、歳入三
千二百八十万円の黒字が翌年度に
三百六十万九千円の黒字を表す。

四つの特別会計のうち、まず國民
健康保険事業決算では歳入六千四
百六十七万八千円、歳出五千八百
二十三万七千円で五百四十万円を
積み立預金、残る二百四十四

歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

積み立預金、残る二百四十四
歳出は、歳入五百八十万円で百
四十八万五千円を越えていた。

財政

368,324千円
88,684千円
86,106千円
792千円
1,400千円
386千円

368,324千円

88,684千円

86,106千円

792千円

1,400千円

386千円

368,324千円

88,684千円

86,106千円

子らと遊ぶ一日

蔵 新田

□□二つの青少健活動から□□

高校生は意識語る会

青少年健全育成

——

本村

は

四十五と四十六年度に、県か

ら、その推進地区に指定され

るなど、今ほど大切な問題と

して取上げられたことはない

のではないか。しかし青少年

健全育成ということが、過去

に全くなかったかといふとそ

うではなく、家庭の責任で個

々に當まれてきたのであり、

現代は、一つの社会問題とし

て考えようというのである。

このほど行なわれた、二つ

の集いを伝え、村内各地域で

の活動の、参考になればとね

がうしだいである。

▼冬のある第三日曜日

すなわち家庭の日、藏新田親

の会（阿部久孝会長、児童五

〇人）では、会員が、もち米

と会費若干を持ち寄つて、子

どもと一緒に楽しく過ごす一

日をもつた。

▼本村青少年問題協議会

では一月七日、本荘高校

で

は

三三事業所をピックアップ

して訪問するが、第一陣の結

果から話題をひろってみた。

▽東京大田区の原田工務店は

電子部品メーカー。ここには

山崎の長谷山松記、小松忠一

問、留守家族の現況や農協

さんら六人。夜八時三〇分の

二十九日にいたる、実勤二日

合併問題など村政の動向を話

た。出かせぎ現地訪問六班を

編成、第一陣は一班が愛知県

玉穂、五・六班が東京都を訪

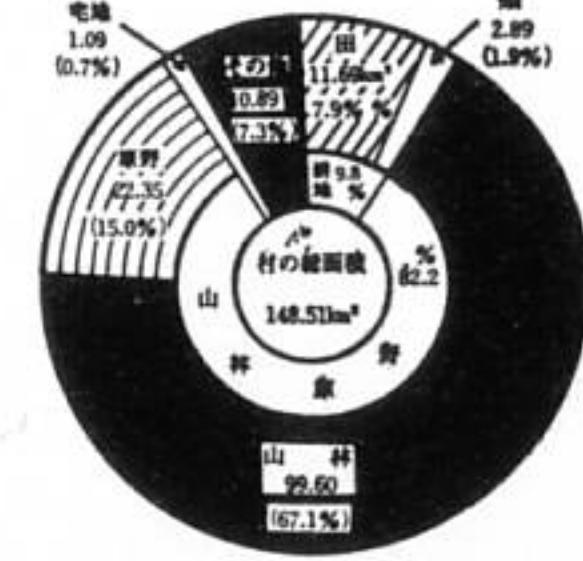
れた。二班が静岡県、三班が神奈川県に向けて一月二十六日から

二十九日にいたる、実勤二日

合併問題など村政の動向を話

た。出かせぎ現地訪問六班を

編成、第一陣は一班が愛知県



東由利村報

No. 163 1971.2.20 農協合併特集

発行 秋田県東由利村役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行(一部8円)昭和42年7月21日第三種郵便物認可

世帯と人口

一般会計	368,324千円
特別会計	88,684千円
内訳	
国保	86,106千円
黒診	792千円
簡水	1,400千円
玉財	386千円

政	1.08 (0.7%)
人	2.89 (1.9%)
農業	1.35 (0.9%)
林業	0.32 (0.2%)
漁業	0.03 (0.02%)
山林	62.3%
村の面積	148.5ha
山林	99.60 (67.1%)

三四年來、米の過剰問題がマスコミを通じ伝えられ、昨年、くるものにきたという“減反政策”によって、生産と消費のバランスを回復して行くのだと、一つの方向が見えてきた。またそれから、農家個々や農協が、従来のように、単に作りさえしていれば、ひとりでに金になるべつくり営農に安住しないで、米にプラスした換金性のある作目選択と、市場開始をとり入れた、積極営農に脱皮しなければならないといふので、農業情勢は、かつて考えられなかつた切迫した立場におかれている。そこで、自由競争の市場で、農業が生き残るために、自問自答した結果、農協の力を強くして“即戦体制”を築くために、農協合併問題が台頭し、三月総会で決議、四月末には新生農協の登記を終えるレールが敷かれたのである。

本村二農協の合併問題は、懇談会といふたちをとつておかれている。“農業情勢”をつかえ、昨年八月三日に農政員と代表職員、それに村長、議会議長らが会合をもつたのである。

九月五日、第二回目の農政懇談会がもたれていた。

日、県農政部の進藤金融団体

生き残るには農協合併

転機に積極営農へ脱皮

農業

三月末合併へ加速

議会議長・農業委員会長の“まとめ役”をふくむ、両農協合併推進協議会を設立、新局面が開かれるにいたつたのである。



新農協は対等合併

変らないサービス網

その結果、農協の合併問題のみをとりあげて、再度、意見交換をしようとして、東由利・玉米両農協の全役員と代表職員、それに村長、議会議長らが会合をもつたのである。

二月一日、合併推進協議会

が審議決定した、合併契約の基本線を見てみよう。

対等合併により東由利村農業

利農協から一人、玉米農協

から九人選出する。

協同組合を設立する。

農協事業は、①組合員への解散時には、新組合を設立

するための設立委員会を、東由

利農協から二人、玉米農協

から九人選出する。

協同組合を設立する。

農協事業は、①組合員への

定期積金の受入れ。②組合員からの貯金、貸付。③組合員からの貯金、定期積金の受入れ。④農業用地の造成、改良、管理または農業用

地の売渡し、貸付け、交換

と農業水利施設の設置や管理

と農村工業用の施設。⑤農業

物資の供給。⑥農業用地の造

成、改良、管理または農業用

地の売渡し、貸付け、交換

と農業水利施設の設置や管理

と農村工業用の施設。⑦簡易郵

便局。⑧農業者年金業務の受

取。⑨地方公共団体の金庫事

務となつていて、その働き

が現在以上に拡大するよう検討していく。

組合員資格は、所管行政庁

の模範定款例によるが、出資

一口あたりの金額は五千円で

あり、全額一時払込み、一組

円であり、事務所は、本所に

現東由利農協本所をあてがい

玉米、蔵、大琴に支所をおくことにしていて、なお現在の

由利農協参事、玉米農協管理

課長で構成させ準備にとりかかつた。

そして一月九日には、合併

推進日程を協議するため、両

協長会議がもたれ、その結

一致で決定した。

経営指導面を充実

あすを開く分野に

地域条件

に適合させ

しかも長期的見地から

農家所得の増大を達さ

せるよう、組合員から賃金、福利厚生の受け取りで誘導して行

くのが農協の役割りである。した

がって指導事務は最も

農家の減少が目立ち、一方で

農業労働力が他産業に吸収され、農業の兼業化に拍車をかけている。

組合が定める掲示板に掲示するなど、推進事務局案に沿って審議決定した。

このように社会の情勢から

べきだわら、必要に応じて秋田魁新報に掲載する。

また、現在の組合員は、そのまま新組合に引継ぎ、職員給与は合併後の経営計画に

したがい、職員に不利益となる調整をはかる。

下旬

のまま新組合に引継ぎ、職員

給与は合併後の経営計画に

したがい、職員に不利益となる調整をはかる。

現東由利農協事務所

の選出方法は選舉規定によると、総会以外の機会に選舉ができるよう、選舉ができるようにし、玉米地区、下郷地区ごとに選舉

組合の事業年度は、毎年四月一日に始まり三月三十一日で終る。組合の公告の方は、組合が定める掲示板に掲示する。

選舉区ごとの役員定数は、組合が定める掲示板に掲示する。

組合長は理事五人と監事二人。

下郷地区が理事七人と監事三人である。

組合長は理事の互選でできめ

る。専務理事を互選することができ

る。専務

